



人権

齋藤信治 議員 (WAKABA)

人権意識の醸成を

答弁…関係機関との連携に努める

問 「埼葛人権を考えるつどい」は、人権意識の醸成が目指されている。見直しの時期ではないか。被差別部落・在日コリアン・LGBTQ・障がい者等への攻撃に対抗する。小さな人(苦しくて声を上げられない人)の声を聴き人権を守るには。

答 埼葛人権を考えるつどいは、人権問題に取り組む様々な団体が主体となり、行政とともに実施している。今後も多くの方に参加してもらえよう検討していく。人権問題は、正しい理解が必要である。引き続き、相談窓口の周知の徹底と関係機関との連携に努める。



10月5日(木)
9:30~16:00 大ホール
越谷コミュニティセンター
埼葛12市町による
「人権を考えるつどい」

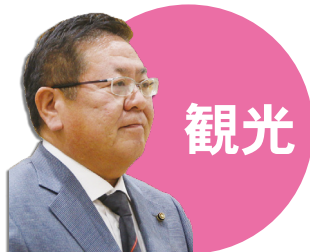
教育 大山小学校の先は

答弁…一人一人の意見を聴いて対応していく

問 小規模特認校として地区外から入学した児童は2人だけ。検証は必要であるが、この制度による児童増加は期待できない。説明会では、反対の声ばかりが聞こえた。賛成の声は上げられない。しかし、確実に一定数いる。個別に安心できる場での聞き取りが必要である。

答 意見交換会や保護者説明会、アンケート調査の実施により、できる限り意見を聴いてきた。

また、説明会の際に、意見の記入用紙に個別の意見を記入し提出してもらうことで、説明会等の全体場で発言できなかった方の意見収集も行った。



観光

和賀正義 議員 (TSUNAGU)

篠津の地域づくりと観光資源の活用

答弁…地域活動を支え文化財を保存活用する

問 市内各地で祭りやイベントが行われる中、篠津では天王様のお祭りが行われる。祭りを通して様々な問題点が浮き彫りになるが、地域活動の重要性について、市はどう考えるか。また、歴史や文化財を守る取組や、観光資源としての活用について伺う。

答 地域活動は、地域の自立性や主体性を発揮するなど社会課題の解決のために非常に重要なものと考えている。文化財保存活用地域計画に基づく文化財の保存活用に取り組むとともに、広報しらかが等による周知や観光協会の協力を得て祭り等の知名度を向上させる。



篠津天王様の山車
(市指定文化財)

開発 駅周辺を輝かせるには

答弁…商工会等と連携を図り、支援していく

問 駅周辺の飲食店や小売店の廃業が続く中、食事処が少なく不便との声を聞く。行政が取り組む駅周辺空き店舗出店支援事業の現状と廃業や開業の相談窓口の充実についてどう考えているか。また、事業を継続するため、出店後のフォローが必要と考える。いかがか。

答 大手企業等に空き店舗への出店依頼を行ってきたが、各社が定める駅乗降者数などの出店基準に満たず、出店に至っていない状況である。今後も、店舗の開業前後の支援や廃業の相談を市商工会や県産業振興公社と連携を密に図りながら積極的に行っていく。